

# 漁況予報 いわし

## 第 1 1 3 号

2002年 9～10月漁期  
(2002年9月 2日発行)

### ＝ 概況 ＝

#### 【まいわし】

主要定置網における7月のマイワシ総漁獲量は、1.6トンしかなく、これは前年同期の1%にすぎません。8月に入っても相変わらず大羽マイワシのまとまった来遊が見られず、依然として1歳魚主体で極めて低調に推移しております。

中型まき網(4統)も1ヶ統で8月下旬に1日だけ中羽3トンの水揚げがあっただけで、あとは前漁期に引き続き皆無の状況です。

昨年、一昨年と相模湾では夏以降、大羽に代わって0歳魚が比較的多く定置網に入網し、定置網へのマイワシ漁獲量を支えましたが、今年は春先から0歳魚が漁場に殆ど出現しておらず、2002年級群の資源量は極めて少ないと思われます。

なお、7月に開催された資源評価会議で、マイワシ太平洋系群の資源水準は、低位・減少と評価されましたので、来年に向けて益々厳しい漁模様となります。

#### 【かたくちいわし】

主要定置網における7月のカタクチイワシ総水揚げ量は、180トンで昨年同期の1.8倍と、前漁期に引き続き好漁を維持しました。地区別では、長井・鎌倉・福浦での水揚げ量が目立ちました。

佐島地区のまき網は、マイワシの漁獲がない分、カタクチイワシに漁獲努力が向けられたこともあり漁獲量は大きく伸び、7月は昨年同期を大きく上回る200トン強の漁獲量を記録しました。

8月に入ると、前半に米神地区で連日1～3トンの入網が続いた以外は、特に目立った水揚げもなくなり、特にお盆以降はどの定置も低調に推移するようになってきました。

#### 【しらす】

春シラスが低調に終漁した分、夏シラスに期待がかかった相模湾のシラス漁ですが、7月に入っても漁況は一向に好転せず、台風で出漁日数が若干減ったとはいえ、漁獲量は爆発的に獲れた昨年同期の4分の1に留まりました。

漁獲水準は50～100kg/統/日と低く、漁獲物も徐々に大型化し、20日前後には30mm台の個体が目立つようになりました。30日～8月初旬にかけて20mm前後の個体が入るようになり、若干漁獲水準は上向きましたが長くは続きませんでした。このことは2ヶ月を通して新規加入が極めて少なかったことを示しています。お盆以降は全く漁が無く、やむを得ずサバ・カツオ釣りに出漁する船も出てきました。

ここ5年間の7・8月漁期は、少なくとも何れかの月でそこそこの漁がありました。今年のように両月とも不漁というのは1996年以来のことです。

＝ 予 報 ＝

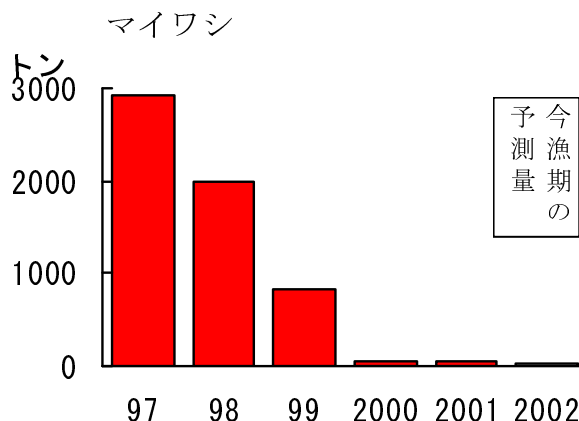
過去5年の9・10月漁期の漁獲量と今漁期の予測量

まいわし

今漁期も、中羽イワシ(2001年級群)と当歳魚(2002年級群)が漁獲の主体となります。

定置網主体に散発的に入網するものと思われます。

今漁期の漁獲量は、約30トンと予測されます。



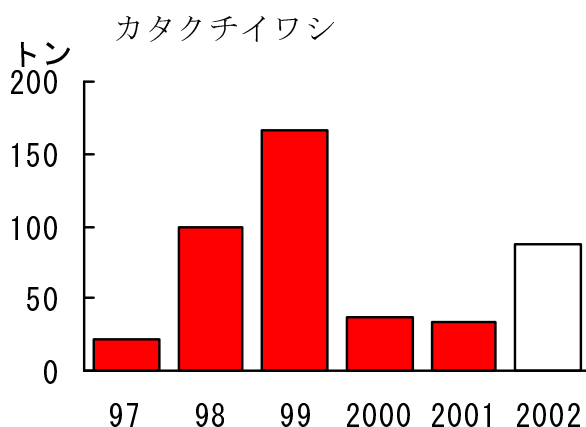
\*縦軸：主要定置網+まき網

かたくちいわし

今漁期は、未成魚及び小型成魚が漁獲の主体となります。

資源状態は良好ですので、過去2年以上の漁獲が期待できます。

今漁期の漁獲量は、約90トンと予測されます。

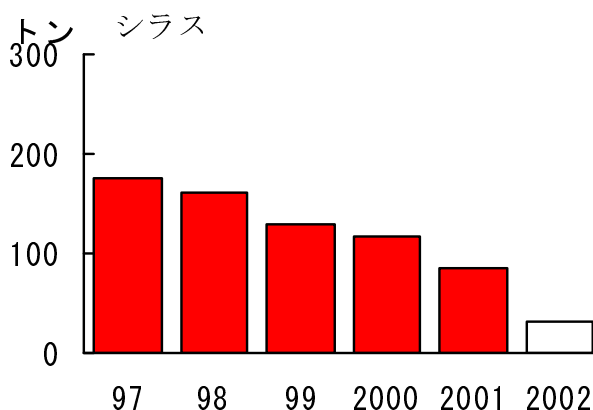


しらす

今漁期は、7～8月生まれのかたくちしらすが漁獲の主体となります。

7・8月の定線観測では、例年以上にかたくちいわし卵が採集されていますが、前漁期同様、あまり多すぎても、しらす漁には良くない傾向があります。

今漁期の漁獲量は、約35トンと予測されます。



神奈川県水産総合研究所 資源環境部  
三浦市三崎町城ヶ島 (0468-82-2313)